

皆さんはじめまして。本年度から高等部顧問になりました、瀧口俊一(たきぐちとしかず)です。これから陸上部の大会結果などを、不定期にですが発信していきます。私の性格上、「必ず作る!!」と決めると面倒になったり、負担に感じたりして止めてしまうかもしれないので、気楽に作っていきます。よろしくお願いします。

インターハイ静岡県中部予選結果

名前の後の() = 学年、 = 自己新、県 = 県大会出場

トラックの部・予選

(男子)

100m	2組8着 12秒 32(+4.3m)	梅島敬太(2)
	7組6着 12秒 06(+3.6m)	加藤貴博(2)
	8組5着 11秒 92(+5.1m)	北條一樹(3)
200m	1組6着 25秒 75(-1.1m)	梅島敬太(2)
	3組8着 25秒 64(-1.7m)	北條一樹(3)
	7組5着 24秒 80(-2.7m)	山口拓馬(2)
400m	3組3着 54秒 72	山口拓馬(2)
	5組7着 58秒 46	梅島敬太(2)
110mH	4組5着 19秒 31(-1.7m)	天野桂太(3)
(女子)		
400m	7組1着 1分04秒 09	石ヶ谷侑季(2)
800m	1組8着 3分22秒 14	小澤愛蘭(1)
1500m	2組2着 5分01秒 68	丸山みなみ(3)
	3組9着 5分31秒 57	松本明莉(1)
100mH	1組3着 17秒 58(-2.1m)	高木遥香(3)県
	2組5着 18秒 88(-1.4m)	池ヶ谷真穂(2)
400mH	2組1着 1分12秒 29	石ヶ谷侑季(2)
	3組1着 1分13秒 59	高木遥香(3)

準決勝

(女子)

400m	2組5着 1分05秒 07	石ヶ谷侑季(2)県
------	---------------	-----------

決勝

(女子)

400mH	2位 1分09秒 64	石ヶ谷侑季(2)県
	4位 1分12秒 93	高木遥香(3)県
1500m	4位 4分55秒 94	丸山みなみ(3)県
3000m	1位 10分26秒 04	丸山みなみ(3)県

フィールドの部

(男子)

走幅跳	10位 6m12(+0.0m)	望月真(3)県
	17位 5m88(+0.1m)	竹田治生(3)
	37位 5m34(+0.2m)	加藤貴博(2)
円盤投げ	28位 21m85	外岡佑亮(2)
やり投げ	17位 40m23	天野桂太(3)
	25位 31m04	外岡佑亮(2)
三段跳	1位 13m90(+1.9m)	望月真(3)県
	14位 12m20(+2.4m)	加藤貴博(2)
	15位 12m20(+3.8m)	竹田治生(3)

(女子)

やり投げ	5位 32m71	池ヶ谷真帆(2)県
	9位 27m48	杉本星莉香(3)県

リレー

男子4×100mR 予選

5組5着 47秒 80	加藤(2)竹田(3)望月(3)北條(3)
-------------	----------------------

男子4×400mR 予選

4組6着 3分41秒 48	加藤(2)竹田(3)梅島(2)山口(2)
---------------	----------------------

女子4×400mR 決勝[2組タイムレース]	2組5着 4分33秒 08	高木(3)石ヶ谷(2)松本(1)池ヶ谷(2)
------------------------	---------------	------------------------

混成

男子八種競技決勝

6位 3464点	天野桂太(3)県
----------	----------

短評

男子100mでは追い風が強く未公認ではあるが、北条(3)が11秒台をマークし、他の短距離種目でも多くの選手が自己記録を更新するなど、短距離陣の奮闘が目立った。混成の天野(3)は、8種競技のほかに、110mH、やり投げにも出場し、計10種目を3日間で戦い抜き、強靭な体力と精神力を見せた。怪我等で練習不足の選手については、概ね満足できる記録、順位はマークした。しかし改善の余地は多く、県大会、県選手権での活躍を期待したい。新1年生については、中等部から内進したメリットを生かして参加できたが、当然ながら体調管理や準備が不足していた。これから練習をつんで、今回体験したような高いレベルの中で戦える状態を作っていくことを期待している。